

2020年度の授業

受講者数は、64人でした。新型コロナウイルス感染症の影響で遠隔授業となりましたが、Microsoft Teamsを使い、ジグソー学習法を用いたグループワークと、課題発見を行うグループワークを実施しました。まず、ジグソー学習法を使ってマイノリティの人々のライフストーリーを教え合ったのですが、事前に必要な数のチャンネル（会議等を行うことができます）と呼ばれる小グループを作成し、ジグソー学習法を行いました。

つぎに、各グループで取り組みたいマイノリティ問題を決め、そのマイノリティの人々のライフストーリーを調べ、それらのライフストーリーをもとにして具体的な課題を発見しました。それぞれのグループにチャンネルを割り振りその機能を利用して、各自で調べてきたレポートファイル等をグループで共有したり、学生が自由に投稿や会議の機能等を使うことで授業外でもメンバー同士で意見交換をしたりすることができました。

なお、各グループで取り組んだマイノリティ問題は、性的マイノリティに関する問題、隔離された病いに関する問題、ハンセン病問題、同和問題、知的障害者に関する問題、人種問題、海外に住む日本人に関する問題でした。

受講者の感想

- ◆ マイノリティについて、だけではなく、考え方や捉え方まで学んだ、有意義な講義でした。また、ジグソー法という勉強法を知ることができたこともよかったです。グループワークをすることで、多くの考え方を知ることができ、また多様性の重要性も捉え直すことができました。「最終的に発表する」という共通の目的もあり、グループのメンバー全員がマイノリティについて懸命に調べ、考え、話した時間でした。（経済学部1年生）
- ◆ この授業を受講し、マイノリティの人々の人生を知ることが出来ました。特に印象に残ったことは、グループワークです。ライフストーリーを学ぶだけでなく、グループワークを通して、コミュニケーション能力の向上につながり、これからの大学生活に大いに役立っていくと感じました。また、この授業を受講し、より自分に関連付けて理解することの大切さを学ぶことが出来ました。（法学部1年生）
- ◆ この授業では、様々なライフストーリーに触れるため、ここで学んだ共感し問題定義する方法は、どのようなマイノリティ問題を考えるうえでも通ずることだと思いました。この授業を通して、何のマイノリティ性もないと思っていた自分にも、本当はマイノリティな部分があるということに気付いて良かったです。（創造工学部1年生）